

報道関係各位

水戸芸術館 音楽部門

～世界的な巨匠であるフランス出身のオルガニスト～
「オリヴィエ・ラトリー オルガン・リサイタル」開催のお知らせ

水戸芸術館では、**23歳の若さでパリ・ノートルダム大聖堂の正オルガニストに抜擢された才人、フランス出身のオリヴィエ・ラトリーによるリサイタル**を開催いたします。

ラトリーは、2012年よりモントリオール国立管弦楽団の名誉オルガニストを務めているほか、ソリストとしても、ボストン交響楽団、フランス国立交響楽団など著名な楽団演奏会に定期的に出演しています。

今回のプログラムは、自国フランスのオルガン作品を基調としながらも、オルガン音楽の長い歴史と地域的な広がりを体現するかのように、ヴァリエティに富んだものです。また、ラトリーの真骨頂ともいえる即興演奏、そして2015年に彼が世界初演した現代曲も組み込まれています。

つきましては、貴媒体にて本公演をご紹介くださいますようお願い申し上げます。

「オリヴィエ・ラトリー オルガン・リサイタル」

2017年7月23日(日) 17:30開場 18:00開演
会場：水戸芸術館エントランスホール

好評発売中

料金：全席指定／A席3,000円、B席2,000円
ユース(25歳以下)1,000円

【出演】オリヴィエ・ラトリー (オルガン)

【曲目】 J.S. バッハ：オルガン協奏曲 二短調 BWV596
(原曲：ヴィヴァルディ作曲 調和の靈感 第11番)
モバリー：臨界質量～オルガンとテープのための
デュプレ：前奏曲とフーガト短調 作品7
ラトリー：即興演奏 ほか

【チケット取り扱い】 水戸芸術館チケット予約センター Tel.029-231-8000 (9:30-18:00/月曜休)

主催：公益財団法人 水戸市芸術振興財団



©Deyan Parouchev

お問い合わせ ご掲載について：水戸芸術館 広報係 (担当：鴨志田) Tel.029-227-8111
企画について：水戸芸術館 音楽部門 (担当：鴻巣) Tel.029-227-8118
〒310-0063 茨城県水戸市五軒町 1-6-8 <http://arttowermito.or.jp/>

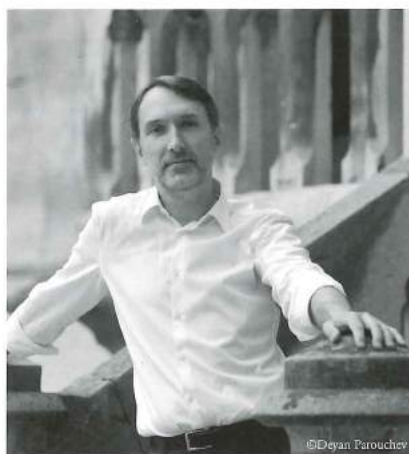
フランスのオルガン音楽の伝統を 現代に継承するオリヴィエ・ラトリー

紀元前まで遡れる長いオルガン音楽の歴史の中でも、最も華麗で、音響の色彩美を追求したのが、近代フランスのオルガン音楽である。その命脈は今日まで受け継がれ、優れたオルガニストが輩出され続けている。そんなフランスの伝統を継承する、現代の第一人者がオリヴィエ・ラトリーだ。彼は23歳の若さで、850年の歴史を持ち19世紀初頭にはナポレオンが戴冠式を行ったパリのノートルダム大聖堂の正オルガニストに、抜擢されるほどの才人だ。

ラトリーが水戸公演のために用意したプログラムは、自国フランスのオルガン作品を基調としながらも、オルガン音楽の長い歴史と地域的な広がりを体現するかのよう、ヴァラエティに富んでいる。幕開けは16世紀後半頃のルネサンス音楽。作曲者は不明だが、オランダからフランスにかけて育まれた舞曲に

基づく作品である。続いて、17世紀フランス・バロック音楽の巨匠リュリと同時代ドイツのケルルの作品。プログラムの前半を締めくくるとは、ドイツ・バロック期のオルガン音楽の頂点に立つJ.S.バッハの作品だ。しかし、こうした時代の流れを遮断して、ラトリーはJ.S.バッハ作品の前とさらに後半の2曲目に現代作曲家の作品を置いた。ラウクヴィックは1952年生れのノルウェーのオルガニスト・作曲家。モバリーは1954年生まれのアメリカの作曲家。どちらもオルガンと磁気テープのために書かれた作品である。伝統的な作品の間にこれらの現代曲を差し挟むことによって、ラトリーは異なる音響空間の創出を試みる。モバリー作品の前後に演奏されるのは、フランス近代のオルガン音楽を代表するデュプレとアランの作品。そして演奏会の掉尾を飾るのは、ノートルダム大聖堂のミサの最後に奏されることもある、時に劇的に表出されるラトリーの真骨頂とも言える即興演奏。

ラトリーが、水戸芸術館のオルガンの特質を生かすべく作り上げたプログラムを、どうぞお楽しみいただきたい。



オリヴィエ・ラトリー (オルガン)
OLIVIER LATRY, organ

オルガニストとして世界的な巨匠であるフランス出身のオリヴィエ・ラトリーは、華麗なるテクニックを持ち、思慮深く冒険心に富んだ音楽家である。並外れた才能に溢れた即興演奏家としても知られ、オルガン音楽のあらゆる可能性を切り拓いている。

23歳にしてパリ・ノートルダム大聖堂の首席オルガニストに任命され、2012年よりモンテリオール国立管弦楽団の名誉オルガニストを務めている。またフィルハーモニー・ド・パリ、グヴェントハウス、ウィーン楽友協会、ブダペスト芸術宮殿、ロイヤル・フェスティバルホール等著名なホールへの出演は数多く、ソリストとしても、フィラデルフィア管弦楽団、ボ

ストン交響楽団、ウィーン放送交響楽団、フランス国立交響楽団などに定期的に出演。ジョン・ミョンファン、アンドリス・ネルソン、エサ＝ベッカ・サロネン、クリストフ・エッセンバッハなどの指揮者とも共演している。

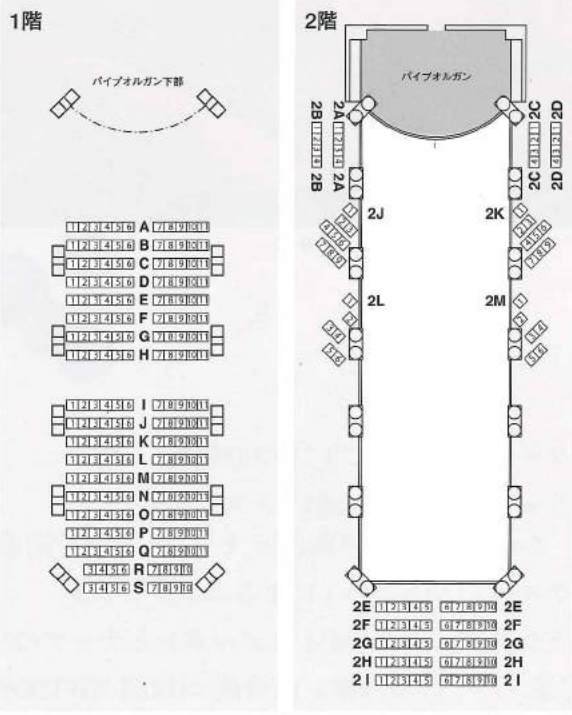
近年のハイライトとしては、14年にカイヤ・サーリアホ作曲オルガンとオーケストラのための『地球の影』をモンテリオール交響楽団、リヨン国立管弦楽団、フィルハーモニア管弦楽団と初演、15年にマイケル・ガンドルフィ作曲オルガン協奏曲をボストン交響楽団と初演。17-18年にはドレスデン・フィルハーモニー管弦楽団のアーティスト・イン・レジデンスを務めることが決まっている。フランス・オルガン音楽に精通しており、ドイツ・グラモフォンにオリヴィエ・メシアンとセザール・フランクのオルガン作品全曲を録音。近年は、過去から現代に至るパリ・ノートルダム大聖堂オルガニストの作品を集めた『パリ・ノートルダム大聖堂のオルガン3世紀』と題するCDをナイーフに録音した。

現在、パリ国立高等音楽院教授。06年、英国王立音楽院から「名誉学位」を授与された。00年にシモネ・エ・シノ・デル・ドッカ賞(フランス学士院)、09年にアメリカ・オルガニスト協会の国際演奏家年間賞など、国際的に著名な賞を数多く受賞している。

水戸芸術館のオルガンについて

水戸芸術館エントランスホールのパイプオルガンは、東京都町田市にある「マナ・オルゲルバウ」社製。日本人の手によって作られたオルガンとしては国内最大級の規模を誇ります。3段の手鍵盤とゆるやかな放射状の足鍵盤を持ち、46種類の音色を組み合わせる多彩な音色を生み出すことができます。また1cmほどのパイプから6m近いパイプまで、全部で3,283本ものパイプが組み込まれています。まるで教会内部の空間さながらの豊かな響きをお楽しみいただくことができます。

■ エントランスホール座席表 A席:1階・2階後方/B席:2階横



● チケットの取り扱い

水戸芸術館 (9:30~18:00/月曜休館)

エントランスホール内チケットカウンター

水戸芸術館チケット予約センター 029-231-8000

ウェブ予約 <http://arttowermito.or.jp/tickets/ticket.html>

e+ (イープラス) <http://eplus.jp> (PC・携帯)

かわまた楽器店 029-226-0351

ヤマハミュージックリテイリング水戸店 029-244-6661

● ユースチケットについて (枚数限定)

◎25歳以下の方が対象のお得なチケットです(未就学児不可)。

◎ご購入いただきましたご本人様のみご利用いただけます。

◎当日ご入場の際には、年齢を証明するものが必要となります。

◎取り扱いは水戸芸術館のみとなります。

◎交通のご案内:JR常磐線水戸駅北口より、

バスターミナル4~7番のりばから泉町1丁目下車、徒歩2分。

水戸芸術館 水戸市五軒町1-6-8 〒310-0063

TEL.029-227-8111 <http://arttowermito.or.jp/>



◎公演中止の場合を除き、一度購入されたチケットの払い戻し、交換等は出来ませんのでご了承ください。◎公演の内容、曲目等は、変更になる場合があります。◎未就学児のご入場はご遠慮ください。